

平成21年度

萩市

4月補正予算の概要



目 次

I	補正予算の概要	．．．．．	P 1
1	補正予算の規模		
	(1) 一般会計の予算規模		
	(2) 特別会計の予算規模		
2	補正予算の状況		
	(1) 一般会計・歳入の状況		
	(2) 一般会計・歳出の状況		
	① 款別予算の状況		
	② 補正予算の内訳		
	(3) 特別会計の状況		
	(4) 企業会計の状況		
3	県補助金削減による影響（全会計）		
II	各部局別補正予算の概要	．．．．．	P 9

I 補正予算の概要

今回の補正は、平成21年度当初予算が義務的経費、経常的経費を中心とした予算編成であったことから、政策的な事業にかかる経費や臨時的な事業にかかる経費を計上し、平成21年度予算の全体像を決定するものです。

予算内容としては、重度障害者医療費助成事業や有害鳥獣捕獲事業を始めとして山口県が平成21年度の予算編成方針により県補助金の削減や廃止をした事業について、その事業の必要性や市民生活に与える影響を勘案して、市の一般財源で代替実施する事業や、現下の経済情勢に対応して市民の雇用を守る緊急雇用創出及びふるさと雇用再生事業に取り組む予算も計上しました。

さらに、国の消費者庁設置に合わせて、消費者行政施策を強化充実する事業、コミュニティ助成事業の補助採択内示に伴う事業等も計上しました。

なお、平成20年度3月補正に一部前倒しを行った事業費と平成21年度当初予算額に、今回の政策的経費等を加えた本来の平成21年度予算の全貌は、下記「1 補正予算の規模」のとおりです。

補正予算の財源は、分担金及び負担金、国・県支出金、寄附金、繰入金、諸収入及び市債を計上しました。

1 補正予算の規模

(1) 一般会計の予算規模

(単位：千円)

21年度当初予算額 (20年度3月補正予算合計額)	4月補正予算額	補正後予算額 (20年度3月補正予算合計額)
29,036,000 (30,074,874)	1,911,501	30,947,501 (31,986,375)

(2) 特別会計の予算規模

(単位：千円)

21年度当初予算額	4月補正予算額	補正後予算額
18,283,200	582,784	18,865,984

2 補正予算の状況

(1) 一般会計・歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	21年度当初予算		4月補正予算		補正後予算	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比
分担金及び負担金	421,744	1.5	1,675	0.1	423,419	1.4
国庫支出金	2,353,471	8.1	474,095	24.8	2,827,566	9.1
県支出金	2,098,163	7.2	221,760	11.6	2,319,923	7.5
寄附金	69,832	0.2	1,251	0.1	71,083	0.2
繰入金	952,561	3.3	327,585	17.1	1,280,146	4.1
うち財調・減債基金	653,407	2.3	308,645	16.1	962,052	3.1
うち特目基金	298,154	1.0	18,940	1.0	317,094	1.0
うち特別会計繰入金	1,000	0.0			1,000	0.0
諸収入	876,215	3.0	16,435	0.9	892,650	2.9
市債	2,397,300	8.3	868,700	45.4	3,266,000	10.6
その他	19,866,714	68.4			19,866,714	64.2
合 計	29,036,000	100.0	1,911,501	100.0	30,947,501	100.0

(2) 一般会計・歳出の状況

① 款別予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	21年度当初予算		4月補正予算		補正後予算	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比
議 会 費	257,332	0.9			257,332	0.8
総 務 費	4,262,840	14.7	29,470	1.5	4,292,310	13.9
民 生 費	7,549,465	26.0	78,307	4.1	7,627,772	24.6
衛 生 費	2,591,986	8.9	233,937	12.2	2,825,923	9.1
労 働 費	25,785	0.1			25,785	0.1
農林水産業費	3,530,374	12.2	424,698	22.2	3,955,072	12.8
商 工 費	1,019,668	3.5	28,324	1.5	1,047,992	3.4
土 木 費	1,675,914	5.8	509,643	26.7	2,185,557	7.1
消 防 費	856,365	2.9	1,000	0.1	857,365	2.8
教 育 費	2,067,716	7.1	606,122	31.7	2,673,838	8.6
災 害 復 旧 費	7,000	0.0			7,000	0.0
公 債 費	5,161,555	17.8			5,161,555	16.7
予 備 費	30,000	0.1			30,000	0.1
合 計	29,036,000	100.0	1,911,501	100.0	30,947,501	100.0

② 補正予算の内訳

(単位：千円)

補正予算の内訳	事業数	補正予算額
政策的・臨時的事業（肉付け予算分）	75	1,869,227
緊急雇用創出事業	10	17,480
ふるさと雇用再生特別基金事業	5	19,327
地方消費者行政活性化事業	1	2,627
コミュニティ助成事業	3	13,700
県補助金の削減等に伴い影響のある事業	15	△10,860
補正予算合計	109	1,911,501

(3) 特別会計の状況

(単位：千円)

会計名	21年度当初予算	4月補正予算	補正後予算
	予算額	予算額	予算額
簡易水道事業	324,300	10,500	334,800
公共下水道事業	1,255,200	428,906	1,684,106
特定環境保全公共下水道事業	91,900	1,000	92,900
農業集落排水事業	549,400	87,338	636,738
漁業集落排水事業	788,900	55,040	843,940
その他事業	15,273,500		15,273,500
特別会計合計	18,283,200	582,784	18,865,984

(4) 企業会計の状況

(単位：千円)

区分			21年度当初予算	4月補正予算	補正後予算
			予算額	予算額	予算額
病院事業会計	収益的	収入	2,481,038		2,481,038
		支出	2,600,714		2,600,714
	資本的	収入	120,514	178,900	299,414
		支出	197,422	178,946	376,368
水道事業会計	収益的	収入	664,272		664,272
		支出	719,862		719,862
	資本的	収入	21,831	495,955	517,786
		支出	158,795	502,950	661,745

○病院事業会計

保守期限切れや経年変化により陳腐化が進んだX線CTや腹部超音波診断装置などの医療機器等を更新し、病院機能の維持・向上を図り、患者サービスの充実に努めます。

○水道事業会計

上水道建設改良事業は、前小畑、河添、堀内、上野地区の配水管布設工事を実施するほか、萩・三隅道路整備工事に伴う椿地区の配水管移設工事を実施します。

簡易水道建設改良事業では、木間地区水道施設整備事業を実施し、平成22年4月の一部供用開始を目指します。また、相島地区においては、老朽施設の更新事業に着手します。その他、三見河内地区の配水管布設工事を実施するほか、大島、見島地区においては、水道施設の改良工事を行います。

3 県補助金削減による影響（全会計）

（単位：千円）

所管課	事業名	21年度 事業費	事業費の財源内訳				補助金削減の内容 ・市の対応方針	
			国庫補助金	県補助金	市債	その他		一般財源
子育て 支援課	乳幼児医療費助 成事業 影響額	A.現行制度		35,189		27,400	8,753	1レセプト単位に 自己負担の導入
		B.削減後	71,342	32,014		27,400	5,579	・県の実施要綱の とおり実施
		C.市の対応	64,993	32,014		27,400	5,579	
	影響額	△6,349	△3,175		0	△3,174		
子育て 支援課	母子家庭医療費 助成事業 影響額	A.現行制度		15,986		13,300	3,724	1レセプト単位に 自己負担の導入
		B.削減後	33,010	14,637		13,300	2,376	・県の実施要綱の とおり実施
		C.市の対応	30,313	14,637		13,300	2,376	
	影響額	△2,697	△1,349		0	△1,348		
福祉課	重度心身障害者 医療費助成事業 影響額	A.現行制度		153,289		145,800	31,489	1レセプト単位に 自己負担の導入
		B.削減後	330,578	149,421		141,800	27,622	・自己負担部分を 市費で補てん
		C.市の対応	318,843	147,421		145,800	37,357	
	影響額	0	△5,868		0	5,868		
福祉課	人権啓発・教育 推進組織運営事 業 影響額	A.現行制度		75			466	補助制度の廃止 ・補助金削減額は 市費で補てん
		B.削減後	541				541	
		C.市の対応	541				541	
	影響額	0	△75			75		
介護 保険課	高齢者の生きがいと 健康づくり事業（老 人クラブ補助金） 影響額	A.現行制度		4,834			7,367	補助金の20%削 減 ・補助金削減額は 市費で補てん
		B.削減後	12,201	3,867			8,334	
		C.市の対応	12,201	3,867			8,334	
	影響額	0	△967			967		

3 県補助金削減による影響（全会計）

（単位：千円）

所管課	事業名	21年度 事業費	事業費の財源内訳				補助金削減の内容 ・市の対応方針	
			国庫補助金	県補助金	市債	その他		一般財源
農政課	手水川水路改修 事業	A.現行制度		750		300	450	単県事業の新規分 について補助廃止 ・事業費を圧縮し 単独市費で実施
		B.削減後				375	1,125	
		C.市の対応	1,300			325	975	
	影響額	△200	△750		25	525		
農政課	被害防止施設緊 急整備事業	A.現行制度		704			1,409	補助制度の廃止 ・補助金削減額は 市費で補てん
		B.削減後	2,113				2,113	
		C.市の対応	2,113				2,113	
	影響額	0	△704			704		
林政課	有害鳥獣捕獲・ 野生鳥獣保護事 業	A.現行制度		2,854			12,654	補助制度の廃止 市費で補てん
		B.削減後	15,508				15,508	
		C.市の対応	15,508				15,508	
	影響額	0	△2,854			2,854		
水産課	生活環境基盤整 備事業（玉江漁 港航路浚渫）	A.現行制度		2,457			2,457	補助事業不採択 ・補助金削減額は 市費で補てん
		B.削減後	4,914				4,914	
		C.市の対応	4,914				4,914	
	影響額	0	△2,457			2,457		
水産課	漁場環境整備事 業（萩地域海底 清掃）	A.現行制度		724			724	補助率（1/2） 事業枠2割削減 ・県補助事業の枠 内で実施
		B.削減後	1,448	585			863	
		C.市の対応	1,170	585			585	
	影響額	△278	△139			△139		

3 県補助金削減による影響（全会計）

（単位：千円）

所管課	事業名	21年度 事業費	事業費の財源内訳				補助金削減の内容 ・市の対応方針
			国庫補助金	県補助金	市債	その他	
文化財 保護課	史跡菟城跡保存 修理事業 影響額	A.現行制度	19,500	9,750			補助率（1/4）
		B.削減後	19,500	6,825			補助金3割削減
		C.市の対応	19,500	6,825			・補助金削減額は 市費で補てん
文化財 保護課	史跡菟城跡史跡 等買上げ事業 影響額	A.現行制度	16,930	2,116			補助率（1/10）
		B.削減後	16,930	1,481			補助金3割削減
		C.市の対応	16,930	1,481			・補助金削減額は 市費で補てん
文化財 保護課	重要伝統的建造 物群保存地区保 存修理事業 影響額	A.現行制度	27,088	4,862			国補助残の1/3
		B.削減後	27,088	2,855			追加事業補助なし
		C.市の対応	27,088	2,855			・補助金削減額は 市費で補てん
水道 管理課	福栄地域水道整 備事業（簡易水 道事業持合） 影響額	A.現行制度		5,250			単県事業の新規分
		B.削減後					について補助廃止
		C.市の対応					・補助金削減額は 市費で補てん
下水道 建設課	浄化槽設置整備 事業 影響額	A.現行制度	13,176	13,176			補助率（1/3）
		B.削減後	13,176	9,618			補助金の削減
		C.市の対応	11,381	9,618			・市の一般財源へ 一スにより実施
	影響額	△5,386	△3,558			△33	

3 県補助金削減による影響（全会計）

（単位：千円）

所管課	事業名	21年度 事業費	事業費の財源内訳				補助金削減の内容 ・市の対応方針
			国庫補助金	県補助金	市債	その他	
	A.現行制度	630,255	76,694	252,016		186,800	114,745
	B.削減後	609,474	76,694	221,303		182,875	128,602
	C.市の対応	615,345	74,899	219,303		186,825	134,318
	影響額	△14,910	△1,795	△32,713		25	19,573
	合計						

Ⅱ 各 部 局 別 補 正 予 算 の 概 要

総 務 部	P 1 0
総 合 政 策 部	P 1 1 ~ P 1 3
文化・スポーツ振興部	P 1 4 ~ P 1 5
市 民 部	P 1 6 ~ P 1 7
保 健 福 祉 部	P 1 8 ~ P 1 9
農 林 水 産 部	P 2 0 ~ P 2 5
商 工 観 光 部	P 2 6 ~ P 2 7
土 木 建 築 部	P 2 8 ~ P 2 9
歴史まちづくり部	P 3 0 ~ P 3 2
上 下 水 道 部	P 3 3 ~ P 3 5
教 育 委 員 会	P 3 6
消 防 本 部	P 3 7

《《《 総務部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

行財政を取り巻く環境がますます厳しくなる中、行政のスリム化と財源確保は、喫緊の課題です。「萩市行政改革大綱」に基づき、適正な定員管理により柔軟でスリムな行政運営の実現を目指すとともに市有財産の有効活用による自主財源を確保し、効率的で安定的な財政基盤を確立します。

また、市民と行政が協働してまちづくりを進めるには、行政情報の公開が不可欠です。市政情報を市報、ケーブルテレビ、ホームページなどを通じて積極的にわかりやすく提供し、透明性の高い行政運営を図ります。

さらに、市民の安全・安心の確保は最大の行政課題です。だれもが安心して暮らせる地域社会を目指して、交通安全運動、防犯活動、暴力追放運動を実施するとともに、防災意識の啓蒙と防災情報の早期伝達を行うことにより、災害の被害軽減（減災）を図ります。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

（単位：千円、％）

区 分	平成20年度 当 算 額 (A)	想 定 平成21年度 当 算 額 (B) (C～E)	平成20年度 3 月 補 正 予 算 額 (C)	平成21年度 当 算 額 (D)	平成21年度 4 月 補 正 予 算 額 (E)	対 前 年 比 (B)/(A)
総務課	1,685,402	2,000,394		2,000,394		118.7
財政課	5,425,313	5,515,549	1,783	5,513,766		101.7
広報課	51,903	43,919		43,919		84.6
監理課	348	159		159		45.7
防災安全課	36,226	28,369	1,100	26,269	1,000	78.3
総務部 計	7,199,192	7,588,390	2,883	7,584,507	1,000	105.4
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

■ 新・・・新規事業

（単位：千円）

事 業 名	補正予算額 (補正後予算額)	事 業 の 概 要
防災コミュニティ助成事業 (防災安全課)	1,000	大井港町内会防犯・防災専門部会の防災用品（水防工具、特定小電力トランシーバー等）の購入に際し、自治総合センターのコミュニティ助成事業による補助を行う。また、町内会による自主防災・自主防犯のモデル事業として広報することで、他地域の町内会活動を活性化させる。

《《《 総合政策部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

全国的に人口は減少局面に入り、高齢化が進んでいます。特に、広大な中山間地域を有する萩市では若者の流出による少子高齢化、過疎化が著しく進行しています。このことは地域力の低下や後継者問題などあらゆる分野に影響を及ぼすことから、その対策が求められています。また、近年の消費生活相談業務の複雑化、高度化に対応し、市民の安全・安心を確保していくためには、消費生活センターの機能強化に取り組む必要があります。

今年度の予算編成は、これら課題の対応策に重点を置いたものとし、魅力ある地域づくり、市民活動団体への支援、人材の育成・確保、萩市へのU J I ターン支援、地域間における情報格差の是正、消費生活相談員等の対応力向上、専門家による多重債務相談会の開催などに取り組みます。

この様な取り組みを通じて、地域コミュニティ機能の再生や市民のまちづくりへの参画意識の高揚、次代の萩を担う若者の確保、人口定住や交流人口の増加を図るとともに、消費者の利益の擁護、増進及び消費者の自立支援に寄与します。

また、本年度が吉田松陰没後150年、伊藤博文没後100年、鎌倉市との姉妹都市提携30年の記念の年であることから、記念事業や市民号の派遣を行います。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当初予算 (A)	想 定 平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算額 (C)	平成21年度 当初 予算額 (D)	平成21年度 4月補正 予算額 (E)	対 前 年 比 (B)/(A)
企画課	596,937	1,231,488	275,700	947,355	8,433	206.3
市民活動推進課	94,531	134,522		113,895	20,627	142.3
情報政策課	248,432	413,449	230,698	182,751		166.4
総合政策部 計	939,900	1,779,459	506,398	1,244,001	29,060	189.3
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事 業 名	補正予算額 (補正後予算額)	事 業 の 概 要
新 吉田松陰先生150年 祭記念事業 (企画課)	4,500	松陰先生没後150年を記念して、松陰先生にゆかりのある全国各地で今なお顕彰活動に尽力されている関係者が萩市に一堂に会し、交流、連携を促進する。また記念創作ミュージカル「SHOWIN」の上演を支援する。

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 伊藤博文公没後100年記念事業 (企画課)	2,000	伊藤博文公は、我が国への憲法、議会制度の導入に主導的役割を果たすなど、日本を近代国家たらしめんとした様々な功績がある。しかし、世間ではその評価は、必ずしも正当なものとは言えないことから、伊藤公没後100年を記念して、その再評価を目的としたシンポジウムを開催する。
萩・タウンミーティング 開催事業 (企画課)	306	市民の意見・声を施策に反映させ、各地域の産業、伝統、文化などの特性を活かしたまちづくりを市民と共に推進するため、萩・タウンミーティング～市長との対話の集会～を地域ごとに開催する。
蔚山広域市との姉妹都市 交流事業 (企画課)	340	萩市と大韓民国蔚山広域市とは1968年10月、日韓両国間において初の姉妹都市提携を行い、両国の友好発展に資する取組みを重ねてきた。昨年、提携40年記念として、蔚山広域市から訪問団が来萩されたことを受けて、本年は萩市から訪問団を蔚山広域市に派遣することで市民の一層の交流を促進する。
新 鎌倉市・萩市姉妹都市 提携30年市民号派遣 事業 (企画課)	687	萩市と鎌倉市は、1979年11月、萩市は明治維新の発祥地として、鎌倉市は武家政治の発祥地として、ともに日本史にその歴史を刻み、日本を動かした町であることから姉妹都市提携を行い交流を重ねてきた。本年は提携30年記念として、市民交流が一層盛んになることを目的に鎌倉市へ市民号の派遣を行う。
就農支援奨学金事業(人 材育成及び確保事業) (企画課)	600 (4,700)	将来、本市で就農を目指す山口県立農業大学校学生を対象とした奨学金の給付枠を拡大し、緊急の課題である地域農業の担い手の確保を図る。
魅力ある地域づくり交付 金事業(臨時措置分) (市民活動推進課)	6,000 (37,000)	平成21年度から川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄の6地域で魅力ある地域づくり交付金事業を実施するが、コミュニティ組織の住民への浸透を十分に図るとともに、住民の地域づくり意識の高揚を図るための取組みが必要であり、今年度に限り臨時的にコミュニティ組織へ交付金を追加交付する。
自治総合センターコミュ ニティ助成事業 (市民活動推進課)	12,000	コミュニティ活動を推進することを目的に各団体にコミュニティ助成を行う。 須佐地域ふるさとづくり協議会(公園遊具等一式) 田万川ふるさとづくり協議会(映像機器等) 旭地域コミュニティ協議会(音響機器、スポーツ用具等) 萩市子ども会育成連合会(音響機器、イベント用具等) 萩時代まつり実行委員会(イベント用鎧かぶと、用具等)

新 . . . 新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
<p>新 消費者行政活性化事業 (市民活動推進課)</p>	<p>2,627</p>	<p>地方消費者行政活性化事業の補助を受け、21年度から消費生活センターの機能強化のための事業を実施する。消費生活相談員・職員のレベルアップを図るとともに、弁護士・司法書士を活用した相談会を開催し、相談への迅速かつ的確な対応を図る。各地域での消費者セミナー・出前講座を通して消費者への啓発を強化し、被害を未然防止し、消費者の自立を支援する。</p>

《《《 文化・スポーツ振興部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

余暇時間の増大に伴い、人々の価値観はますます多様化しています。このような中、世代に応じた生涯学習や生涯スポーツを推進し、文化・芸術に触れる機会の充実に努めます。

生涯学習の推進については、市民の学習ニーズを的確に把握し、地域・家庭・学校の連携のもと、生涯学習のまちづくりに取り組むとともに、民間団体との協働により、市民が文化に親しむ環境づくりをさらに進めます。

また、市民に親しまれ、誰もが気軽に利用できる生涯学習の中核施設であり、地域の文化教育的な情報拠点である図書館と、子どもたちの居場所づくりや子育て環境づくりの拠点となる大型児童センターを一体的に整備する新図書館・児童館整備工事に今年度から着手します。

萩博物館では、まちじゅう博物館の中核施設として萩の情報を広く市内外に発信し、まちづくりや人づくりに貢献します。

生涯スポーツの推進については、市民スポーツ大会等の開催、各種団体等の活動支援に取り組むとともに、平成23年の山口国体に向けて、スポーツ施設環境の改善・整備を図ります。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当予算額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算額 (C)	平成21年度 当 初 予 算 額 (D)	平成21年度 4月補正 予 算 額 (E)	対前年 比 (B)/(A)
文化・生涯学習課	407,550	470,570		464,735	5,835	115.5
萩博物館	93,864	106,653	2,500	99,208	4,945	113.6
萩図書館	43,082	48,063		48,063		111.6
スポーツ振興課	150,247	170,625	30,000	140,075	550	113.6
図書館・児童館建設準備室	46,047	486,388		93	486,295	1,056.3
国体推進室	18,491	24,298		24,298		131.4
文化・スポーツ振興部計	759,281	1,306,597	32,500	776,472	497,625	172.1
市予算額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 訪問型家庭教育相談体制充実事業 (文化・生涯学習課)	3,885	家庭の教育力を高めるため、文部科学省の委託を受け、地域の子育て経験者と専門家の連携による「訪問型家庭教育支援チーム」を設置し、家庭教育に関する情報や学習機会の提供並びに相談体制の充実を図り、きめ細やかな家庭教育支援を実施する。
砂の芸術祭開催支援事業 (文化・生涯学習課)	700 (1,400)	(財)自治総合センター青少年健全育成支援事業を受け、第25回萩・菊ヶ浜砂の芸術祭開催事業を支援する。 日時 平成21年7月26日(日) 8:00~23:00 会場 菊ヶ浜海水浴場
文化活動支援事業 (文化・生涯学習課)	1,250	市民の自主的な文化芸術活動を支援し、市民が文化に親しむ環境を整備する。 長州とことん総踊りin萩、全国俳句大会、山口県芸術演奏会、萩・鎌倉姉妹都市提携30周年記念公演等
新 ふるさと雇用再生特別基金事業・「萩学」推進事業 (萩博物館)	4,945	「萩まちじゅう博物館」の中核施設である博物館の役割の一つ、「萩学」の探求を進めるために、萩藩に関する古文書の翻刻と明治以降の萩に関する新聞記事のデータを整理、蓄積し、博物館資料の充実を図るとともに、萩の情報を広く市内外に発信する。
児童館整備事業 (図書館・児童館建設準備室)	80,612 (80,648)	次代を担う子どもたちが、夢や希望が持てる居場所づくり、安心して生み育てられる子育て環境づくりの拠点として、乳幼児から小中高生までを対象とした大型児童センター整備に伴う建設工事に着手する。 建設工事、施工監理業務 工事期間 平成21~22年度 計画面積 835㎡
新図書館整備事業 (図書館・児童館建設準備室)	405,683 (405,740)	現在の萩図書館の老朽化に伴い、市民に親しまれ、誰もが気軽に利用できる生涯学習の中核施設として、また、地域の情報拠点として、ひとづくりや市民の暮らしに役立つ新図書館の建設工事に着手する。 建設工事、施工監理業務 工事期間 平成21~22年度 計画面積 2,914㎡
新 緊急雇用創出事業・田万川グラウンド周辺整備事業 (スポーツ振興課)	550	田万川グラウンド沈砂池及びグラウンド周辺排水路の土砂等の撤去作業を行い、豪雨時における災害の防止を図る。

《《《 市民部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

地方分権の一環として、県から事務処理の権限委譲を積極的に受け入れていますが、今年度は旅券発給事務、地球温暖化防止活動推進員の委嘱事務の受け入れ、これまで不便をかけていた妊婦や乳児、小・中学校の転入手続等の窓口の一元化など、市民サービスの向上に努めます。

厳しい財政事情の中、税負担の公平性と自主財源の確保のため、固定資産税の評価替等適正な課税を推進するとともに、タイヤロックの活用による動産の差押えの強化やインターネット公売の活用、自治大学校等への職員研修派遣や国税OBの指導員による徴収指導の強化など、あらゆる方策を講じて収納率の向上に努めます。

深刻化する環境問題を解決し、持続可能な社会を構築するため萩市独自の環境型社会の取り組みとして、昨年度供用開始した「エコプラザ・萩」を積極的に活用して3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するとともに廃棄物処理施設等の適正な管理運営に努め、市民との連携・協力により美しいまちづくりを進めます。

また、平成27年度の供用開始に向けて、稼働開始後20年以上を経過した萩清掃工場の改築事業に本格的に着手します。

国民健康保険については、医療費に一定の伸びを見込みましたが、保険料については被保険者の負担を考慮し、基金を活用して据え置く方針としました。

また、2年目を迎える特定健康診査・特定保健指導の受診率等の向上に努め、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）とともに人間ドックをはじめとする各種検診の助成を行い、被保険者の健康管理を推進し、医療費の適正化を図ります。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

（単位：千円、％）

区 分	平成20年度	想 定	平成20年度	平成21年度	平成21年度	対 前 年 比
	当 予 算 額	定 額	3 月 補 正 予 算 額	4 月 補 正 予 算 額	4 月 補 正 予 算 額	
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(B)/(A)
税務課	316,512	302,895		302,895		95.7
収納課	78,569	26,639		26,639		33.9
市民課	1,650,809	1,752,827	28,350	1,724,477		106.2
環境衛生課	1,053,949	1,010,194	48,903	955,134	6,157	95.8
市民部 計	3,099,839	3,092,555	77,253	3,009,145	6,157	99.8
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新 . . . 新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 新清掃工場建設事業 (環境衛生課)	6,157	稼働開始後20年以上を経過した萩清掃工場の移転・新築に向けて新清掃工場の建設地を確定するとともに循環型社会形成推進交付金事業実施計画を策定する。

《《《 保健福祉部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

少子高齢化の進行、家族形態の変化や地域の相互扶助機能の弱体化など、家庭や地域を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、市民の保健福祉ニーズも年々多種多様化してきており、こうしたニーズに応えていくことが求められています。特に、少子高齢化対策は、萩市においては重要課題となっています。

少子化対策として、子どもたちの居場所づくり、安心して生み育てられる子育て環境づくりの拠点となる大型児童センターの工事に着手するとともに、萩地域以外の保育園において元気子育て支援センターの開設や幼稚園での預かり保育の充実など子育て支援機能の強化に取り組みます。

高齢者対策として、一般高齢者の運動機能の向上や口腔ケアなど介護予防の強化・充実を図るとともに、高齢者グループホームなどの介護基盤の充実を図ります。また、緊急連絡体制の充実を図るなど高齢者の安全・安心対策を地域とともに進めます。

障害者福祉として、障害者が地域において安心して生活が送れるよう、社会参加の促進と就労支援事業などの充実を図ります。

市民の健康づくりとして、ライフステージに応じた保健事業を展開し、一次予防をさらに推進します。また、安心して出産ができるよう妊婦健康診査の充実を図ります。

地域医療においては、見島診療所の改築工事に着手するとともに、医療機器の更新を図るなど地域医療の充実を図ります。

このような事業を通して、市民誰もが住みなれた地域で、健康で、安心して生活が送れる「健康福祉のまちづくり」を推進します。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度	想 定	平成20年度	平成21年度	平成21年度	対 前 年 比
	当 年 度 初 算 額 (A)	定 額 初 算 額 (B) (C～E)	3 月 補 正 算 額 (C)	4 月 補 正 算 額 (D)	4 月 補 正 算 額 (E)	
子育て支援課	2,325,390	2,351,656		2,354,769	△ 3,113	101.1
福祉課	2,141,833	2,225,458		2,225,458		103.9
介護保険課	1,357,622	1,309,745		1,308,937	808	96.5
健康増進課	355,190	378,733	1,600	377,133		106.6
地域医療推進課	868,328	1,131,204		908,538	222,666	130.3
高齢者保健福祉支援センター	52,159	48,532		48,532		93.0
保健福祉部 計	7,100,522	7,445,328	1,600	7,223,367	220,361	104.9
市 予 算 額	29,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	106.8

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 ふるさと雇用再生特別 基金事業・ 私立幼稚園保育環境整 備事業 (子育て支援課)	5,000	私立幼稚園2園において、居残り保育や子育て支援等より手厚い保育を実施することにより、地域の子育て拠点施設としての機能強化を図る。 実施年度 平成21～22年度 対象幼稚園 萩幼稚園、萩光塩幼稚園
新 フレー！フレー！応援 寄附事業 (子育て支援課)	5	フレー！フレー！応援寄附で寄せられた寄附金を財源として、障害者が地域において安心して働き、自立した生活が送れるように就労環境の整備を図るため、市内の福祉施設の設備整備等に補助する。 対象施設 7施設
母子家庭医療費助成事業 (子育て支援課)	△ 2,697 (30,313)	高校卒業までの年齢の児童を養育するひとり親世帯等で、一定の所得以下の世帯等に対して、その児童及び保護者の医療費の自己負担額を一部負担金を除き助成する。 一部負担金 外来1,000円/月、入院2,000円/月 導入時期 平成21年8月から
乳幼児医療費助成事業 (子育て支援課)	△ 6,349 (64,993)	一定の所得以下である世帯に属する小学校就学前児童に対して、当該児童の医療費の自己負担額を一部負担金を除き助成する。 一部負担金 外来1,000円/月、入院2,000円/月 導入時期 平成21年8月から
新 緊急雇用創出事業・ 社会福祉施設等施設環 境整備事業 (子育て支援課)	928	市内の社会福祉施設等の樹木の剪定や草刈、側溝清掃など実施して快適な環境の維持を図る。 実施期間 平成21～23年度 実施対象施設 市内の社会福祉施設を中心とした公共施設
新 緊急雇用創出事業・ 萩市高齢者データベ ース作製事業 (介護保険課)	808	基本チェックリスト、生活機能評価受診結果、ひとり暮らし高齢者調査票、在宅寝たきり高齢者調査票、75歳以上高齢者ふたり暮らし世帯調査票をデータベース化し、地域の高齢者の実態を把握する。
見島診療所改築事業 (地域医療推進課)	222,666 (222,843)	老朽化している見島診療所、見島歯科診療所を一箇所に合築し、見島地区住民の健康と医療の拠点とするとともに、医療機械器具を整備し効率的な医療サービスを提供する。 建築面積 581㎡ 主な医療機械器具 X線透視撮影台、超音波診断装置、心電図 歯科診療台、パノラマレントゲン装置

《《《 農林水産部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

農林水産業を取り巻く環境は、従事者の高齢化、担い手不足及び販売価格の低迷に加え、鳥獣被害の増加など厳しさが一層増しており、喫緊な対応が求められています。

農業は、農業従事者の後継者不足に対応するため、I・J・Uターン者を含めた新規担い手の確保・定住を推進する一方、農業所得の確保、食料自給率の向上、耕作放棄地解消のため、農地のフル活用や園芸・畜産産地の育成に努めます。また、産地づくりに取り組む担い手組織に対し、共同利用機械の導入を支援するとともに、地域資源を活用した新たな所得機会の創出を推進します。

また、明治時代から萩の経済を支えてきた夏みかんを、萩夏みかんセンターを核とした新規栽培志望者を対象とした研修活動により、担い手を中心に新たな発想でブランド化し、発祥の地萩から全国に情報発信する中で、柑きつ経営で自立可能な経済性の高い地域特産品として再生します。

林業は、近年、地球温暖化防止に関する森林への期待が大きく、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるための施策を重点的に講じます。このため、積極的な間伐の推進、伐期の長期化、複層林・針広混交林への誘導、森林病虫害対策、環境に配慮した路網の整備などに取り組むとともに、地域森林の特性に応じた総合的な施策を展開し、健全で多様な森林づくりを推進します。

水産業は、魚価の向上対策として、さらなる萩の魚のブランド化推進に取り組み、本市の安心・安全な魚の首都圏を中心とした販路拡大を図るとともに、地元での魚の消費拡大に努めます。また、担い手の確保・育成を図るため、漁業法人への研修支援や新規就業者の定着支援を行うとともに、住宅整備について積極的に取り組みます。さらに、漁港整備などの生産基盤整備を重点的に推進するとともに、環境保全活動への支援、漁村地域の持つ多面的機能の維持への取組みを推進します。

なお、農林水産業や市民生活に大きな影響を与えている野生鳥獣被害防止対策については、部内組織を強化するとともにソフト・ハード両面において、緊急かつ適切な対策を講じます。

これらの取り組みを総合的に推進する中で、農林漁業経営の安定、地域担い手の確保、鳥獣被害の軽減を図り、農山漁村の維持・発展に努めます。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 平 当 予 算 (A)	想 定 平成21年度 平 当 初 予 算 額 (B) (C～E)	平成20年度 3 月 補 正 予 算 額 (C)	平成21年度 平 当 予 算 (D)	平成21年度 平 当 初 予 算 額 (E)	対 前 年 度 比 (B)/(A)
農政課	1,223,911	1,474,984		1,202,471	272,513	120.5
柑きつ振興課		35,098		4,873	30,225	皆増
林政課	438,329	473,087		380,947	92,140	107.9
水産課	851,962	1,223,014	14,200	1,195,847	12,967	143.6
農林水産部 計	2,514,202	3,206,183	14,200	2,784,138	407,845	127.5
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新 . . . 新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
水田農業構造改革推進事業 (農政課)	19,879	地域水田農業ビジョンに基づき、水田を最大限活用し、産地づくりに取り組む担い手等の営農用機械導入を支援する。 機械種類 コンバイン、乗用管理機 事業主体 あぶらんど萩農業協同組合、営農集団等
需要に応える園芸産地構造改革推進事業 (農政課)	28,200	市内の特色ある園芸産地の競争力を強化すると同時に、生産量の増加による自給率向上を図るため、高品質・低コスト化・産地拡大に向けた、園芸用機械・施設導入を支援する。 むつみ・福栄地域 ニンジン・ジャガイモ選別機、播種機等 萩地域 ブロッコリー移植機 須佐地域 ホウレンソウ用パイプハウス
新 農地フル活用促進事業 (農政課)	1,500	県内需要の高い「大豆、ジャガイモ、ニンジン、カボチャ、ブロッコリー、はなっこりー、タマネギ、加工用イチゴ」の新規生産拡大を助長し、自給率向上と所得の安定を図るとともに耕作可能な農地のフル活用を図る。 事業内容 新規作付面積（販売実績）10a 当り10千円助成
新 鳥獣被害防止総合対策事業 (農政課)	1,000	鳥獣被害の増加に鑑み、鳥獣被害防止特別措置法に基づく総合対策事業に対し、受益者の負担軽減を図るため嵩上げ助成を行う。 事業主体 萩阿武鳥獣被害防止対策協議会 事業内容 イノシシ、サル侵入防止柵設置に要する経費の10%を助成 予定事業費 10,000千円 国補助率 55%
農林水産物加工・直売施設整備事業 (農政課)	82,022 (85,462)	萩・三隅道路の明石パーキングエリアに地域資源活用交流促進施設を整備し、地域資源を十分に活用した地域活性化と交流促進を図る。 本体工事 280㎡、下屋工事 30㎡、外構工事、設備一式
新 萩市法人組織就業実践研修支援事業（農業） (農政課)	3,201	若者等の就農を促進し、将来の農業を担う人材の確保・育成を図るため、就業意欲を有する多様な人材に対して、農業法人が行う実践的な研修に要する経費の一部を緊急的に支援する。
新 担い手定住促進住宅整備事業 (農政課)	100,000	第一次産業の新規就業者参入を容易にし、担い手の確保と集落の自治機能を強化するため、定住促進住宅団地を整備し、地域住民との融和やコミュニティ、相互扶助活動を展開することにより、過疎地域の定住人口の確保を図る。 建設戸数 6戸 1戸当たり80㎡程度

新 . . . 新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
資源循環型肉用牛経営育成事業 (農政課)	814	肉用牛を活かした地域内資源循環を目的に、地域内農地での飼料作物の栽培や堆肥の処理散布を条件に肉用牛増頭のための畜舎整備を支援する。 須佐地域 繁殖牛舎（9頭規模） 1棟
新 耕畜連携肉用牛就農支援事業 (農政課)	1,500	耕畜連携を要件に畜産新規就農者を積極的に育成するため、自給飼料に立脚した肉用牛経営の開始に必要な施設整備を支援する。 川上地域 肥育牛舎（肥育20頭規模） 1棟
中山間地域総合整備事業 (農政課)	17,070	中山間地域の不利な条件を改善し、農業や生活の基盤を確立する。 萩地域（木間地区） 事業内容 水路改修、農道整備、用地整備 事業期間 平成20～24年度 むつみ地域 事業内容 鳥獣防護柵 L=2,000m 事業期間 平成16～21年度
里地棚田保全整備事業 (農政課)	24,798	相島地区の農業集落道を改良し、住民の生活環境の改善を図るとともに、営農労力の軽減により耕作放棄地の発生を防ぐ。 事業内容 改良 L=60m、コンクリート舗装 L=200m 事業期間 平成18～21年度
ふるさと農道緊急整備事業 (農政課)	△ 19,500 (500)	田万川地域原山地区における、ふるさと農道緊急整備事業を平成20年度から着手したが、県の財政事情により当該事業での整備を21年度で廃止するための減額。22年度からは、国庫補助事業の「一般農道整備事業」の採択を受け、引き続き整備する予定である。
新 耕作放棄地発生防止対策事業 (農政課)	3,624	水路老朽化による農業用水の確保困難に起因する耕作放棄地の発生を防止するため、水路の改修を行う。 須佐地域遠田地区、旭地域佐々並地区
就農円滑化対策事業（緊急措置分） (農政課)	9,000 (14,820)	中山間地域を多く抱える本市では、農業の活性化が急務である。このためには、農業後継者の確保が喫緊の課題であり、新規の就農希望者に対して直ちに支援ができるよう措置する。 研修助成 15万円/月、5名分
新 萩なつみかんセンター整備事業 (柑きつ振興課)	30,500	萩市産柑橘の情報発信・研修教育・農業生産実習の拠点施設として、萩なつみかんセンターを旧柑きつ試験場跡地に整備し、新規就農者や栽培農家の実践研修の場とし、萩夏みかんを経済性の高い萩特産品として再興する。 新規就農者技術習得管理施設（木造平屋建1棟 130㎡）

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 ふるさと雇用再生特別 基金事業、緊急雇用創 出事業・ 萩なつみかんセンター 管理運営事業 (柑きつ振興課)	△ 275 (4,419)	萩なつみかんセンターが行う夏みかんの再生活動に対し、国の「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」の採択を受けたことから、予算の一部を同事業対応に変更するとともに、県の補助事業である「ふるさと雇用再生特別基金事業」及び「緊急雇用創出事業」の採択による歳出予算の組替えと歳入財源の振替えを行い、雇用の安定と夏みかんを核とした経済活性化を推進する。
新 間伐促進対策事業 (林政課)	5,000	森林整備の副産物である間伐材の有効利用を図るとともに、地球温暖化防止対策のため環境に優しい魚のログハウス（魚礁）づくりを実施する。 事業期間 平成21～25年度 総事業量 400基（80基×5か年） 総事業費 25,000千円
林道畦田小原線開設事業 (林政課)	39,485 (39,934)	林業振興はもとより、萩地域小原地区の生活道としても期待される林道を開設する。 林道開設工事 L=250m、用地購入、立木補償 事業期間 平成17～24年度 総延長 L=1,260m 総事業費 240,395千円
広域基幹林道三見木間線 開設事業 (林政課)	14,000 (37,000)	林業振興はもとより、萩地域木間地区の生活道としても期待される林道を開設する。 県負担金、用地購入 事業期間 平成9～26年度 総延長 L=10,630m 総事業費 469,373千円（県営事業費は除く）
林道尾札1号線開設事業 (林政課)	28,639 (29,506)	むつみ地域吉部上地区の森林施業や林業振興に不可欠な路網を整備するため林道を開設する。 林道開設工事 L=190m 事業期間 平成13～22年度 総延長 L=2,150m 総事業費 398,604千円
新 ふるさと雇用再生特別 基金事業・ 森林整備作業員確保推 進事業 (林政課)	4,224	京都議定書の第一約束期間における森林吸収量目標を達成するため、適正な森林整備を実施するための専門家を養成する。 事業期間 平成21～23年度 総事業費 13,440千円

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 緊急雇用創出事業・ 広域基幹林道福萩線維 持管理事業 (林政課)	792	刈り払い機操作等の技術を有する離職者を臨時的に雇用し、林道福萩線起点から田床橋周辺までの区間の維持管理を実施する。 実施予定延長 L=19,172m 事業期間 平成21～23年度 総事業費 2,376千円
新 環境・生態系保全活動 支援事業 (水産課)	1,805	藻場・干潟の有する多面的機能の健全な発揮を図るため、藻場・干潟の地域資源を適切に保全管理する漁業者等の行う活動を総合的に支援する。
新 攻めの地域ブランドづ くり推進事業 (水産課)	500	「萩のあまだい」、「須佐男命いか」などのさらなるブランド化を推進するとともに、首都圏を対象に、ワンランク上の食材として、萩の魚の販路拡大により、高級ブランド育成・定着や認知度向上を図る。
新 萩市法人組織就業実践 研修支援事業(水産業) (水産課)	1,940	就業者の確保・育成を図るため、漁業の技術等を習得するための研修を実施する漁業法人等に対し、支援を行う。
新規就業者定着支援事業 (緊急措置分) (水産課)	9,000 (11,700)	現下の雇用情勢の中、水産業への新規就業者の流入を促進するため、漁業経営を新たに始めようとする研修受講者へ直ちに支援できるよう措置する。 研修助成 15万円/月、5名分

鳥獣被害防止対策関連事業(当初予算を含む再掲)

(単位：千円)

事業名	予算額	事業の概要
被害防止施設緊急整備事 業 (再掲) (農政課)	2,113	農産物をイノシシ、サル被害から未然に防止するため、地域が行う被害防止施設整備事業に対し補助する。 事業内容 トタン、電気牧柵の設置 補助率 基準単価の3/4以内
中山間地域総合整備事業 (再掲) (農政課)	8,080	中山間地域の鳥獣被害を防止するため、鳥獣防護柵を整備する。 むつみ地域 事業内容 鳥獣防護柵 L=2,000m
鳥獣被害防止総合対策事 業補助金 (再掲) (農政課)	1,000	萩阿武地域鳥獣被害防止対策協議会が行う、侵入防止柵等整備事業について、受益者負担を軽減するため補助する。 事業主体 萩阿武地域鳥獣被害防止対策協議会 事業の内容 捕獲柵の設置、追い払い、侵入防止柵等整備 国の補助率 ソフト事業100%、ハード事業55% 市嵩上げ補助率 ハード事業について10%

鳥獣被害防止対策関連事業(当初予算を含む再掲)

(単位：千円)

事業名	予算額	事業の概要
有害鳥獣捕獲・野生鳥獣保護事業 (再掲) (林政課)	16,000	有害鳥獣の捕獲奨励による個体数の削減及び傷病鳥獣の保護を行う。 事業内容 捕獲対策協議会、捕獲許可、捕獲奨励補助金、猟友会補助金
野猿被害軽減対策事業 (再掲) (林政課)	50	野猿被害防止のため、野猿に発信機を取り付けて行動調査を実施する。 事業内容 メスサル捕獲用資材(餌)の購入

《《《 商工観光部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

地域経済を取り巻く環境は、世界的な景気の後退に伴う日本経済の停滞により、雇用情勢が急速に悪化し、全般的に厳しい状況にあります。

このため、商工業の振興においては、中小企業の経営の健全化や経営環境の改善のため、中小企業融資の原資となる金融機関への貸付額や保証料補助額の拡充を行うとともに、景気後退下の地域の経済対策に資するため、経済関係団体への支援の拡充を図ります。

また、中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して行う新商品の開発、生産又は需要の開拓などの農商工等連携事業を支援することにより、中小企業の経営の向上と農林漁業経営の改善を図ります。

雇用対策においては、国の緊急雇用創出事業等の活用により、安定的な雇用の創出や緊急的な就業の機会を提供します。

次に、観光動向は長引く不況、観光客のニーズの多様化により、観光地の地域間競争が激しくなっています。このような中、近代日本の礎を築いた維新のふるさとであり、往時を偲ばせる景観が随所に残っている萩のまちの歴史・文化や自然、食、温泉、各地域の多様な観光資源を活用し、まちじゅう博物館構想の下、観光振興を図るとともに、萩ブランドを推進し、地場産業の推進を図ります。

また、萩を訪れた観光客が、十分に満足し、再び訪れたいと思うような観光地づくりに努め、NPO萩観光ガイド協会や民間の方とともに、「おもてなし」の推進を図り、ホスピタリティあふれる受入態勢を整備していきます。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成 20 年 度	想 定	平成 20 年 度	平成 21 年 度	平成 21 年 度	対 前 年 比
	平 当 予 算 額	平 当 予 算 額	平 当 予 算 額	平 当 予 算 額	平 当 予 算 額	
	(A)	(B) (C ~ E)	(C)	(D)	(E)	(B) / (A)
商工課	827,550	718,083		701,241	16,842	86.8
観光課	306,932	287,301	5,419	275,674	6,208	93.6
商工観光部 計	1,134,482	1,005,384	5,419	976,915	23,050	88.6
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 商工業振興事業（萩市 商品券発売事業） （商工課）	10,000	定額給付金の給付に合わせて、プレミアム付商品券を発売する3 団体に対し、プレミアム分を補助金として交付する。 萩市共通商品券協同組合、あぶらんど萩農業協同組合、山口県 漁業協同組合はぎ統括支店
新 萩市産品販路拡大事業 （萩市産品パワーアップ プロジェクト事業） （商工課）	4,910	中小企業等が国の補助を受けて実施する農商工等連携事業に対し て補助金を交付する。 萩産の低利用度魚種を活用した加工品の開発と販路拡大 萩市産品PRツールの整備 インターネットショップほか
新 緊急雇用創出事業・ 麻生団地樹木等伐採業 務委託事業 （商工課）	1,932	緊急雇用創出事業として、本市において特に重点的に企業立地を 図る区域である麻生団地各工区（表面・法面）の樹木伐採及び草 刈り等を実施することにより、企業の進出に支障のない状態に整 備する。
新 ふるさと雇用再生特別 基金事業・ 観光客集客戦略事業 （観光課）	3,608	本市には、「歴史・文化、自然、食」と観光資源が豊富にある。 そうした資源を修学旅行の誘致につなげていくために、「ホンモ ノ」の体験プログラムの発掘、ホームページやパンフレットの作 成、体験モニターツアーの実施等を行い、観光客の誘致を図る。
新 吉田松陰先生没後15 0年及び伊藤博文公没 後100年記念事業 （観光課）	2,600	本市は幕末に、吉田松陰先生をはじめ、伊藤博文公など萩出身の 志士たちが活躍し、明治維新胎動の地としても知られている。今 年は、吉田松陰先生没後150年及び伊藤博文公没後100年の 記念の年であり、記念事業の一環として、吉田松陰先生及び伊藤 博文公のオリジナルフレーム切手（80円×10枚）を作成し、 1,200円で販売、全国に情報発信を行う。

《《《 土木建築部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

市民生活の基盤を支える生活道路及び各地域を繋ぐ幹線道路網の整備、土地行政の適正な情報管理を行い、計画的な地籍調査を推進し、公営住宅においては、適正な維持管理・整備に努め、住みやすさが感じられるまちづくりを推進します。

本市には延べ約1,000kmに及ぶ市道がありますが、幹線道路や集落間を連絡する道路網を地域の実情に応じて計画的に整備し、また道路交通の利便性、安全性を確保した生活道路の維持補修、改善に努めます。さらに、地域からの要望の多い、中山間地域が抱える課題である草刈等の道路の維持管理は地域の実情に応じ実施し、河川の浚渫においては、優先順位をつけ計画的に実施します。

公営住宅については、離島における住宅不足を解消し、若者が安心して暮らせる居住空間の整備のため取り組んでいる大島第3団地の整備、また無田ヶ原口団地整備についてはC棟建設に向けた地質調査等の事業を実施し、地域の特性に応じた住宅の供給と住環境の形成に努めます。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当 予 算 (A)	想 定 平成21年度 当 初 予 算 額 (B) (C～E)	平成20年度 3 月 補 正 予 算 額 (C)	平成21年度 当 初 予 算 (D)	平成21年度 4 月 補 正 予 算 額 (E)	対 前 年 比 度 比 (B)/(A)
土木課	960,873	900,622	98,800	495,388	306,434	93.7
用地課	72,737	63,459		63,459		87.2
建築課	197,250	321,799	14,343	156,681	150,775	163.1
土木建築部 計	1,230,860	1,285,880	113,143	715,528	457,209	104.5
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事 業 名	補 正 予 算 額 (補正後予算額)	事 業 の 概 要
笹尾新茶屋線道路整備事業 (土木課)	194,649 (202,800)	川上地域 事業期間 平成18～23年度 総事業費 647,000千円 L=2,300m、道路改良工事 L=1,120m、支障電柱移設補償
羽賀線道路整備事業 (土木課)	19,032 (20,000)	萩地域 事業期間 平成17～24年度 総事業費 450,000千円 L=1,600m、道路改良工事 L=180m、支障電柱移設補償

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
生野高坂線道路整備事業 (土木課)	19,189 (20,250)	福栄地域 事業期間 平成18～22年度 総事業費 547,200千円 L=840m、道路改良工事 L=100m、支障電柱移設補償
常盤橋橋りょう整備事業 (土木課)	38,232 (40,000)	萩地域 事業期間 平成21～24年度 総事業費 310,000千円 L=298m、補修工事 L=30m、橋りょう詳細調査設計委託
新 緊急雇用創出事業・ 道路・河川等環境美化 事業 (土木課)	5,332	市内全域 各地域の市道、河川、道路公園・河川公園の除草及び土砂取除 き等の清掃を緊急雇用臨時職員により実施し、身近な生活環境 の改善を図るとともに災害の未然防止を行う。
道路臨時維持補修事業 (土木課)	30,000 (166,312)	市内全域 各地域の市道で、路肩・側溝等の道路維持補修工事を実施し、 通行の安全を図る。
大島第3団地整備事業 (建築課)	142,337 (143,168)	離島における住宅不足を解消し、漁業従事者や若者等が安心して 暮らせる居住空間を整備する。 本体建設、外構、設備監理 事業期間 平成20～21年度 総事業費 144,833千円 事業計画 2棟8戸
無田ヶ原口団地整備事業 (建築課)	8,438 (8,609)	無田ヶ原口団地C棟建設に係る業務委託を行う。 地質調査、設備設計、構造計算 事業期間 平成20～23年度 C棟総事業費 455,160千円 事業計画 1棟20戸

《《《 歴史まちづくり部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

本市の歴史的都市遺産や文化遺産を保全し活用するとともに、歴史的な遺産と調和した良好な景観形成に努め、都市機能の増進を図るべく整備を推進します。また、豊かな自然と歴史・文化資源の歴史的な風致を保存・活用した個性的で魅力あるまちづくりを推進するとともに、世界遺産登録を目指した取組みを進めるなど、「萩まちじゅう博物館」構想の実現を図ります。

市街地の整備については、良好な都市環境に資する都市公園を整備するとともに、魅力あるまちづくりの推進とまちなみの緑化を推進します。また、国道・県道の整備などによる土地利用の変化に伴い、都市計画用途地域の一部について見直し検討を行い、それぞれの役割に応じた土地利用を図ります。

景観については、萩市景観計画及び萩市屋外広告物等に関する条例に基づき、本市特有の豊かな歴史・自然景観の保全に努め、地区住民と一体となった良好な景観形成を推進します。

文化財の保護については、文化財の保存修理、史跡の公有化を進めるとともに、周辺環境の向上、良好な景観の保存・形成に努めるほか、地域の文化財の維持補修を行います。また、文化財施設の適切な維持管理と積極的な公開、活用を進めるとともに、文化財保護思想の普及・啓発に努めます。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

（単位：千円、％）

区 分	平成20年度 当初予算 額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算額 (C)	平成21年度 当初 予算額 (D)	平成21年度 4月補正 予算額 (E)	対前年 度 比 (B)/(A)
まちじゅう博物館推進課	10,666	10,616		10,616		99.5
世界遺産推進課		3,893		3,893		皆増
文化財保護課	226,748	263,717		85,377	178,340	116.3
都市計画課	352,969	378,284	22,535	301,774	53,975	107.2
(まちなみ対策課)	94,752					皆減
歴史まちづくり部計	685,135	656,510	22,535	401,660	232,315	95.8
市予算額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
新 歴史的環境形成総合支援事業 (文化財保護課)	60,147	萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的建造物の復原及び歴史的な環境の保全・整備を行う。 札幌跡整備事業 渡辺蒿蔵旧宅整備事業 観音院観音堂修理事業(補助)
史跡萩城跡保存修理事業 (文化財保護課)	48,295 (48,412)	国指定史跡萩城跡外堀(北の総門周辺)の保存修理、城内石垣の調査設計を行う。 外堀 事業期間 平成8～22年度 総事業費 615,217千円 設計監理、整備工事
新 史跡萩城城下町保存修理事業 (文化財保護課)	1,320	国指定史跡萩城城下町内の歴史的建造物の修理に対する補助を行う。 事業費 17,600千円
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (文化財保護課)	41,674	堀内地区、平安古地区、浜崎地区の伝統的建造物の保存修理(修理工事、設計監理)に対する補助を行う。 堀内地区 3件、平安古地区 1件、浜崎地区 4件
史跡萩城跡土地買い上げ事業 (文化財保護課)	21,163	国指定史跡萩城跡保存修理事業にかかる外堀整備のため、家屋の移転補償を行う。
新 文化財調査事業 (文化財保護課)	2,950	周知の埋蔵文化財包蔵地の試掘調査を行うとともに、世界遺産登録の推進に資するため埋蔵文化財の分布調査を行う。 萩城遺跡、恵美須ヶ鼻造船所跡、青海郡司鑄造所跡
新 緊急雇用創出事業・見島文化財施設維持管理事業 (文化財保護課)	620	施設の維持管理のため、見島ジーコンボ古墳群及び見島ウシ運動場の雑木伐採、除草を行う。 A =1.09 h a
新 緊急雇用創出事業・指定文化財データベース構築事業 (文化財保護課)	2,171	指定文化財216件のデータベースを構築し、判読が困難となっている申請書等のデータ化を行うとともに、指定から現在に至るまでの文化財の状況把握を行い、今後の整備や活用に資する。

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
まちづくり交付金事業 (都市計画課)	12,807 (13,529)	萩まちじゅう博物館構想の実現に向け、観光資源を活用した魅力あるまちづくりを推進する。 事業期間 平成17～21年度 総事業費 555,000千円 市道梨ノ木町樋ノ口線側溝美装化 玉木文之進旧宅保存修理
陶芸の村公園整備事業 (都市計画課)	28,921 (30,000)	陶芸の村公園整備を行う。 北側整備 A=1.6haの交流広場整備
中央公園整備事業 (都市計画課)	9,600	中央公園整備を行う。 土工一式、水路工 L=125m、設計業務委託
新 緊急雇用創出事業・ 緑のまちなみ推進事業 (都市計画課)	2,647	既設の公園や並木のさくらの維持のため、補植、除草、防除等の作業を行う。

《《《 上下水道部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

地球温暖化など環境問題や食の安全が強く求められている中、安全で安心して飲む水の供給は、水道事業の使命であり、また、健康で安全かつ快適な生活を営むための重要な生活環境の早期整備は、下水道事業の重要な課題となっています。

しかしながら、水道事業においては、給水人口の減少等による収益の減少傾向や施設の老朽化による維持管理経費の増加により、厳しい経営状況が続いています。下水道事業においても、コスト削減工法等により経費縮減に努め、事業の拡大を図っていますが、施設維持管理に多額の経費を要し厳しい経営状況が続いています。

このような現状の中、水道事業においては、未普及地域解消対策・老朽施設更新対策・水質検査による原水管理に取り組み、下水道事業においても、投資効果の高い地域の面整備を行い、効率的な拡大を図るとともに、水洗化の促進と効率的な施設維持管理に取り組みます。

また、経営の健全化を図るため、下水道事業の普及・水洗化の促進を行い、水道事業については経費の削減、事業の効率化に取り組み、使用者及び地域の住環境の整備と生活衛生の充実を図るとともに、より効率的な施設維持管理と公営企業の経営健全化を目指します。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当初予算 額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算 額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算 額 (C)	平成21年度 当初 予算 額 (D)	平成21年度 4月補正 予算 額 (E)	対前年 比 (B)/(A)
水道管理課	367,911	281,281		270,781	10,500	76.5
下水道建設課	1,367,902	1,558,947		1,546,374	12,573	114.0
上下水道部 計	1,735,813	1,840,228		1,817,155	23,073	106.0
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

【特別会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当初予算 額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算 額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算 額 (C)	平成21年度 当初 予算 額 (D)	平成21年度 4月補正 予算 額 (E)	対前年 比 (B)/(A)
簡易水道事業	464,500	334,800		324,300	10,500	72.1
公共下水道事業	1,609,800	1,684,106		1,255,200	428,906	104.6
特定環境保全公共下水道事業	95,500	92,900		91,900	1,000	97.3

【特別会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当初予算額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算額 (C)	平成21年度 当初 予算額 (D)	平成21年度 4月補正 予算額 (E)	対前年 比 (B)/(A)
農業集落排水事業	770,400	636,738		549,400	87,338	82.7
漁業集落排水事業	705,300	843,940		788,900	55,040	119.7
林業集落排水事業	3,100	3,100		3,100		100.0
特定地域生活排水事業	42,700	43,600		43,600		102.1
個別排水事業	12,200	12,500		12,500		102.5
上下水道部 計	3,703,500	3,651,684		3,068,900	582,784	98.6

【企業会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度 当初予算額 (A)	想 定 平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	平成20年度 3月補正 予算額 (C)	平成21年度 当初 予算額 (D)	平成21年度 4月補正 予算額 (E)	対前年 比 (B)/(A)
収益的支出	741,046	719,862		719,862		97.1
資本的支出	306,981	661,745		158,795	502,950	215.6
水道企業会計 計	1,048,027	1,381,607		878,657	502,950	131.8

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
漁港建設事業 (下水道建設課)	11,400 (12,000)	萩地域(大井浦地区) 1号集落道整備・防火水槽設置工事
簡易水道施設建設事業 (特別会計) (水道管理課)	10,500	福川簡易水道の取水不足を解消するため、新たな水源を新設し飲料水の安定給水を図る。 事業期間 平成21～22年度 総事業費 23,500千円 地質調査・解析調査・水源確保調査業務委託
公共下水道事業 (特別会計) (下水道建設課)	428,906 (469,755)	萩地域 管きよ(汚水・雨水)・流入管布設工事 萩浄化センター改築工事 沈砂池設備工事

新・・・新規事業

(単位：千円)

事業名	補正予算額 (補正後予算額)	事業の概要
農業集落排水事業 (特別会計) (下水道建設課)	87,338 (102,066)	椿南地区の一部において、生活排水処理施設の整備を行い、快適で衛生的な生活環境の確保を図る。 萩地域(椿南1期地区) 処理場建設工事(基礎杭)、水洗化用水施設整備工事
漁業集落排水事業 (特別会計) (下水道建設課)	55,040 (57,500)	漁業集落において、生活排水処理施設の整備を行い、快適で衛生的な生活環境の確保を図る。 萩地域(大井浦地区) 排水管路布設工事、水道管移設補償 須佐地域(須佐浦地区) 実施設計業務委託
上水道建設改良事業 (企業会計) (水道管理課)	55,950 (57,650)	老朽配水管の布設替・整備を行い、安全で安定した飲料水を供給する。 萩地域(前小畑、河添、堀内、上野、椿地区) 配水管布設替工事
簡易水道建設改良事業 (企業会計) (水道管理課)	447,000 (455,111)	未普及地域の解消及び水道施設の整備を図り、安全で安定した飲料水を供給する。 相島地区 事業期間 平成20～23年度 総事業費 268,000千円 詳細設計業務委託、用地購入、造成工事、配水管布設工事 木間地区 事業期間 平成20～23年度 総事業費 687,553千円 取水・導水・浄水・配水施設整備、配水管布設工事 三見河内地区 配水管布設工事 大島、見島地区 大島簡易水道水質計器設置工事 見島簡易水道ポンプ設備改良工事

《《《教育委員会予算の概要》》》

◆ 予算編成の考え方

我が国は今、高度情報化、国際化、少子高齢化が著しく、さまざまな社会環境の中で、これらに対応できる教育の推進が強く求められています。そこで本市では、ふるさと萩を誇りとし、夢や目標を抱きながら、豊かな心とたくましく生きる力をもった次代の萩を担う人材の育成を推進していきます。

学校教育の充実では、地域の環境や特色を生かし活力と創意に満ちた学校づくりを支援します。また、「いじめ撲滅宣言」「なかよし宣言」の唱和を継続し、心の教育の充実を図ります。特別支援教育についても、早期教育相談を充実させきめ細かな支援を継続します。外国語指導助手による英語教育を充実し、さらに新学習指導要領に対応し小学校の外国語活動を積極的に推進します。学校図書館では、図書の実用を図り読書活動を推進します。また、学校給食の食材費高騰に係る給食費の保護者負担増の軽減を図ります。学校施設については、大島小中学校の改築工事に着手するとともに、各小中学校施設の改修による整備を図り、耐震化についても推進していきます。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度	想 定	平成20年度	平成21年度	平成21年度	対 前 年 比 (B)/(A)
	当 算 額 (A)	成 21 年 度 当 初 予 算 額 (B) (C ~ E)	3 月 補 正 予 算 額 (C)	当 算 額 (D)	4 月 補 正 予 算 額 (E)	
総務課	899,285	986,778	44,198	939,434	3,146	109.7
学校教育課	281,693	317,423	7,266	301,284	8,873	112.7
教育委員会 計	1,180,978	1,304,201	51,464	1,240,718	12,019	110.4
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

◆ 主要事業の概要

新・・・新規事業

(単位：千円)

事 業 名	補正予算額 (補正後予算額)	事 業 の 概 要
私立学校施設整備補助事業 (総務課)	3,146	私立学校の教育振興のため、施設整備費に対して補助する。 萩光塩学院施設整備費補助金 高校校舎、体育館及び幼稚園園舎の耐震化について、萩光塩学院が実施する耐震診断経費に対して補助する。
学校給食費補助事業 (学校教育課)	8,873	学校給食用の食材費高騰に伴う給食費の保護者負担増の軽減を図るため、補助に係る基準単価と現行単価の差額を補助する。 補助の期間は、4月から9月までの半年間 小学校費 5,192千円 中学校費 3,681千円

《《《 消防本部予算の概要 》》》

◆ 予算編成の考え方

複雑多様化・大規模化する災害、少子高齢化等、消防防災行政を取り巻く環境が大きく変化している中で、市民の安心・安全の確保は本市においても基本的な責務であり、また地域社会活性化への基盤でもあります。このような観点から、大事故やあらゆる災害等に揺るがない社会を構築し、市民の安心安全を維持・向上していくことが必要です。

このため、平成21年度では、署・消防団の消防車両の整備、島しょ部を始めとする各地域への防火水槽等の設置・整備、救急救命業務高度化の推進、消防職員・消防団員の資質の向上、消防団新戦力の加入促進等の施策に取り組みます。

このような施策を踏まえ、地域と連携した総合的な消防体制の確立を図り、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

◆ 各課別予算の状況

【一般会計】

(単位：千円、%)

区 分	平成20年度	想 定	平成20年度	平成21年度	平成21年度	対前年 度 比 (B)/(A)
	当 算 額 (A)	平成21年度 当初予算額 (B) (C～E)	3 月 補 正 予 算 額 (C)	当 算 額 (D)	4 月 補 正 予 算 額 (E)	
消防本部	860,319	1,052,142	211,479	840,663		122.3
消防本部 計	860,319	1,052,142	211,479	840,663		122.3
市 予 算 額	28,940,000	31,986,375	1,038,874	29,036,000	1,911,501	110.5

平成21年度4月萩市補正予算の概要

平成21年4月 発行

萩市総務部財政課

TEL 0838-25-3131 (代表)

0838-25-3349 (直通)